



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3776 号 2017.7.16 発行

障害あったって 思春期だもん 親の代わり 看護師ケア 中日新聞 2017年7月15日
 教室のベッドで、看護師に人工呼吸器を着けてもらう村上紗楓さん(中)
 =金沢市内の中学校で

金沢市教委が小中に派遣

たんの吸引や胃ろうによる経管栄養など、医療的ケアを必要とする子どもが親の付き添いなしに学校に通えるようにと、金沢市教委は市立小中学校に看護師を派遣する取り組みを始めた。石川県内の教委で、本格的に体制を整えるのは初めて。子どもや親からは喜びの声が上がっている。(小室亜希子)

金沢市内の中学校。三年の村上紗楓(さやか)さん(14)は一限目が終わると、看護師に人工呼吸器を着けてもらった。全身の筋力が低下する病気。呼吸器を着けると体が楽になるため、日中は二〜三時間だけ装着する。教室のベッドで授業を受け、積極的に発言もする。

六月上旬に看護師派遣が始まるまでは、母親の悦子さん(47)が毎日付き添っていた。だが紗楓さんにとって、いつも親がそばにいるのは嫌で仕方がなかった。「友達と秘密の話やふざけた話もできないし、先生も気を使う。母も大変だったと思う。(看護師派遣は)本当にうれしい」と声を弾ませた。

市教委は本年度の当初予算で学校看護師の派遣費として九百万円を計上。現在は医療的ケアが必要な四人の児童生徒に対し計七人の看護師を採用し、ケアの内容に応じてそれぞれの学校に派遣している。

看護師の派遣は、障害のある子の親でつくる「金沢つながりの会」が要望してきた。紗楓さんと同じ病気で呼吸器が必要な長女(中一)と次女(小四)がいる母親(38)もその一人。三女(1つ)の出産前後は付き添いできず、登校できない日々が続いた。一人が風邪で学校を休めば、もう一人も休まざるを得なかった。



(文部科学省調査、小中学校は2012年度から調査)

母親は看護師派遣を「ようやくかない、よかった」と喜び「障害があっても学校に行くのを当たり前にする世の中になってほしい」と望む。市教委学校指導課の担当者は「(障害のある子もない子とともに学ぶ)インクルーシブ教育に向けた大きな流れの一環。ケースに応じてしっかりと取り組んでいく」と話している。

増えるニーズ 取り組み途上

医療技術の進歩を背景に医療的ケアが必要な子どもが増加し、地域の小中学校への通学を希望する児童生徒は今後増えるとみられる。だが親の付き添いを求められるケースは多く、看護

師派遣の取り組みも自治体によってばらつきがある。

文部科学省の二〇一六年度の調査では、全国六十七の都道府県と政令指定都市のうち、二十の県市で小中学校に在籍する医療的ケアが必要な子どもへの看護師配置がゼロだった。五人の対象児がいる富山県もその一つ。親が付き添っているかなどの状況について、県教委は「把握していない」とする。

石川県内では野々市市（対象児一人）と白山市（同三人）も取り組む。ただ野々市市では保護者が毎日の派遣を望むのに対し、週一日にとどまる。白山市は福祉部局で介護者支援事業として取り組むが、市議会からは「教育保障の観点で、教委が所管するべきだ」との指摘が上がっている。金沢大の河合隆平准教授（障害児教育学）は「看護師派遣は特別支援学校も含めて大事な課題になっているが、財源や看護師確保の問題でニーズに追いついていない」と指摘する。

医療的ケアが必要な子ども たんの吸引や経管栄養、人工呼吸器の装着などの医療行為を日常的に必要とする子ども。国の推計で全国に約1万7000人おり、10年前の1・8倍。特別支援学校や小中学校に在籍するケア児の数も増加している。

ご当地婚姻届人気 寝屋川や枚方、交野

大阪日日新聞 2017年7月15日

愛らしいイラストやキャラクターを盛り込んだオリジナルの婚姻届が市民の注目を集めている。地元の伝説に基づくものや、学生とコラボレーションしたものなど多彩で、地元への愛着を深めたり、定住の促進に一役買っている。各市は「思い出に残る形でたくさんの人に利用してほしい」とPRしている。

枚方市の「ひこぼしくん」と交野市の「おりひめちゃん」がデザインされた婚姻届（枚方市提供）



大阪ブライダル専門学校との協働でデザインした寝屋川市の婚姻届（同市提供）



■七夕ゆかり

枚方、交野の両市は、共通のオリジナル婚姻届の配布を7月から始めた。六歌仙の一人で平安初期の歌人、在原業平が七夕にまつわる歌を残すなど七夕伝説ゆかりの地とされ、「天野川」「機物神社」といった地名、名勝も残る。

作成した婚姻届は2枚つづりで、2枚目は持ち帰り用。デザインは2種類あり、枚方市のゆるキャラ「ひこぼしくん」と交野市の「おりひめちゃん」が仲むつ

まじく寄り添うものや、天の川を挟んだ織り姫（こと座）とひこ星（わし座）のイラストもある。

枚方市市民室によると、婚姻届が提出されるのは通常市内で1日15件程度。日付の数字がそろうなど覚えやすい日は人気があるそうで、昨年7月7日は通常の約5倍の97件が提出された。

■公民連携

学生の自由な発想を生かそうと、寝屋川市は今年1月から大阪ブライダル専門学校（大阪市西区）との公民連携でデザインした書面を発行している。

コンセプトは「寝屋川市で繫（つな）がる赤い糸」。指の絵の部分にカップルが指を置く

と、2人が赤い糸で結ばれたように見え、市の木でもあるサクラが門出を華やかに演出している。

お互いへのメッセージが書き込めるカードや保管のためのクリアファイルも提出者にプレゼント。クリアファイルにカードを入れると赤い糸にサクラの花が咲いたように見える仕組みだ。

市役所1階の玄関ホールには、記念用のスクリーンと届け出書がセットできるスタンドも設置。市民課の担当者は「婚姻届、出生届は一連のもので、定住に結び付いていけば」と話している。

■他都市でも

門真市は、市への愛着を生む取り組みの一環として、オリジナル婚姻届や出生届の作成を本年度の施政方針に盛り込んだ。

市と包括連携協定を結ぶ大阪樟蔭女子大（東大阪市）の学生からデザインを募集。オープンキャンパス（16、17日）の来場者による投票で数案に絞り、8～9月の庁内投票で決めるという。今年10月からの配布を目指しており、市民課の担当者は「人生の大切な節目を記念に残してほしい。市の魅力発信につながれば」と話している。

送迎車内死亡事故、県警が障害者事業所を捜索 読売新聞 2017年07月15日

埼玉県上尾市の障害福祉サービス事業所「コスモス・アース」の送迎用車内で、重度の知的障害のある男性利用者（19）が死亡した事故で、県警は15日、事業所を捜索した。

男性は長時間車内に置き去りにされた結果、熱中症で死亡したとみられ、県警は業務上過失致死の疑いもあるとみて押収した関係資料を分析する。

午前10時15分頃、県警の捜査員ら約10人が2台の車に分乗して事業所の駐車場に到着し、建物内に入った。午後1時10分頃、捜査員は段ボール数箱を車に積み込み、事業所を後にした。

県などによると、男性は、13日午前9時頃に送迎用のワゴン車で事業所に到着後、6時間以上車内にいたとみられる。事業所では、男性が昼食の時間帯にいないことに気付いた職員もいたが、午後3時20分頃、運転手が利用者を送る準備のため車を確認するまで男性が車内にいたことに気付かなかったという。

ふるさと納税のお礼に「あなたの大切な人見守ります」 朝日新聞 2017年7月15日



協定締結式に臨んだ橋本克也市長（右）と、郡山ヤクルト販売の長谷川進社長＝須賀川市役所

ふるさと納税の返礼品は大切な人の見守り——。福島県須賀川市が乳酸菌飲料「ヤクルト」の販売会社と組み、こんな事業を始めた。寄付者が指名した市内の高齢者らの自宅にヤクルトの配達員が訪れ、安否や体調を確認してくれる。市によると、県内の自治体では初めての取り組みだという。

市によると、2005年の国勢調査で8万364人だった人口は15年の調査では7万7441人に減少。反対に一人で暮らす65歳以上のお年寄りや1393世帯から、1・6倍の2255世帯に増えている。

事業は市内を配達エリアにしている「郡山ヤクルト販売」（郡山市）と連携。寄付者が指名した世帯に配達員が週に1回、ヤクルト製品7本を届ける。

お年寄りたちの話し相手になるなどして体調を確認し、気にかかることがあれば寄付者に報告する。緊急の場合は救急車を要請したり、市に通報したりする。

3カ月の見守りで寄付額は2万5千円から。指名対象はお年寄りを想定しているが年齢に制限はなく、肉親以外でもよい。高齢者夫妻など一人暮らし世帯以外も指名できる。寄付者は市外に住む人に限り、必ず対象を指名しなければならない。13日から市のホームページで募集を始めている。

13日にあった事業協定の締結式で橋本克也市長は「ふるさと納税の趣旨に立ち返った制度。ふるさとや家族を思う人たちの期待に応えたい」と話した。(鈴木剛志)

眼鏡型スマートグラスで医学実習 愛知県の藤田保健衛生大 共同通信 2017年7月15日

スマートグラスを装着し、実証実験を行う藤田保健衛生大の学生=15日午後、愛知県豊明市

眼鏡型のウェアラブル端末「スマートグラス」で視界内に点滴などの手順を表示、医学生の実習に使う実証実験が15日、藤田保健衛生大(愛知県豊明市)で行われた。開発に当たったサン電子(同県江南市)は「テキストをめくる動作が不要となり、より本番に近い実習が可能になる」としている。

実験では、事前に入力した説明文がスマートグラスの画面上部に表示され、医学部4年の学生が指示に従い、腕の形をした模型に点滴針を刺すなどした。

模型から目を離さずに動作を行うことができ、学生が「次のページ」と指示するとマイクが声を拾い、次の説明に切り替わった。



障害者の製品を京都土産に 13種類、ホテルで販売 京都新聞 2017年7月16日 からすま京都ホテルのテイクアウトショップで販売が始まった「ほっとはあと製品」(京都市下京区)



障害のある人たちが手掛けた「ほっとはあと製品」の販売が、京都市下京区のからすま京都ホテルで始まった。土産にもなる京都らしい品々がそろっており、同ホテルは「訪れた多くの方々に魅力的な商品を知ってもらう機会になれば」としている。

製品は、市内の障害者福祉施設で作られており、市が主体となって運営するアンテナショップ「はあと・フレン

ズ・ストア」(中京区)のほか、市動物園、二条城など4カ所の公共施設でも販売されている。

市や同ストアでは障害者福祉施設での工賃向上を目指して販路拡大に取り組んできた。国内外から訪れる多くのビジネスマンや観光客にも購入してもらおうと、今回、民間の宿泊施設で初の委託販売が実現した。

ホテル1階の「テイクアウトショップ『レックコート』」で、祇園祭にちなんだ季節商品を含む13種類を販売している。銚子の絵柄入りのうちわをはじめ、おすすめの京都の観光ルートを紹介したてぬぐいやテントウムシ柄のミニタオル、干菓子風の飾りが付いたかんざしやヘアゴムなど、かわいらしい商品が並ぶ。

ショップの営業時間は午前8時～午後9時。無休。

出所者らの再犯防止に支援充実 政府、ネットワーク組織創設

産経新聞 2017年7月16日

政府は16日、刑務所からの出所者らの再犯防止を徹底するため、行政機関や福祉施設などが連携して社会復帰を後押しするネットワーク組織を、都道府県や政令指定都市ごとに創設する検討を始めた。就労支援や住居の紹介などを迅速、効率的にできるようにするのが狙いで、平成30年度にも制度設計に着手する。刑法犯の検挙人員は減少しているにもかかわらず、再犯者の比率が年々伸びる中、刑務所運営の財政負担削減の観点などからも対策を求める声が強まっている。

再犯者比率の高まりは社会問題化しており、昨年末には、出所者支援を充実させるべきだとした「再犯防止推進法」が議員立法で成立した。再犯防止には、出所者の「居場所」を作り、犯罪に手を染める環境に追い込まないことが重要だ。

新制度では、都道府県や政令市ごとに、行政や福祉施設、医療機関、NPO法人、ボランティア団体などからなる協議会のような連携組織を作って、情報共有をはかる。

その上で、出所者らの相談などを一元的に引き受ける窓口を設け、連携組織を通じて仕事、住居を紹介したり、高齢者や障害者を福祉施設、医療機関につないだりする。窓口は行政が担っても民間に委託しても良い。出所者は複数の機関を回る手間が省け、効率的に最適な対応を受けられる。

政府は30年度にも協力する自治体を募ってモデル的な事業を始め、成果を見ながら全国へ広げる考えだ。

法務省によると、27年の刑法犯の検挙人員は昭和47年以降で最少だったが、再犯者比率は48・0%と最高。また、刑務所出所後、2年以内に再入所する比率は約2割、5年以内は約4割で高止まりが続く。

刑務所の入所者削減を徹底するには再犯者をどれだけ減らせるかがカギを握る。「入所者1人あたり2年半で1千万円かかる」（自民党）刑務所の運営経費を下げるためにも、再犯者の削減は重要となる。



<わたしの道しるべ>障害児自立に寄り添う

河北新報 2017年7月16日

◎児童指導員 砂口実穂さん(23)＝仙台市太白区

障害のある小学生を放課後に預かる放課後デイサービス事業所で、指導員をしています。今年で2年目です。

コミュニケーションが苦手だったり、言葉が話せなかったりと、障害はさまざまです。その子の特性を理解して自立を促すためにどう支援したらいいか、日々迷い、工夫しながら子どもたちと向き合っています。

自分自身、小、中学校、高校と、いつも自信がなくて悩んでいました。大学に進学してようやく「自分は自分のままでいい」と思えるようになりました。子どもに寄り添う仕事をしたいと思ったのも、その経験からです。



障害児が安心して過ごせる場として放課後デイサービスは必要です。でもそこに行けばいいというのではなく、もっと住んでいる地域とつながり、普通に暮らせる社会になってほしいです。

普段から顔見知りになり、その子の性格や得意なこと、苦手なことを分かっているならば、非常事態でもスムーズに助け合えるのではないかと思います。そんな関係を築くにはどうしたらいいのか、常に考え、実践していきたいです。

シンポジウム 障害者の働き方取り組む 神戸で24日 /兵庫

毎日新聞 2017年7月17日

「障害者の多様な働き方シンポジウム～短時間雇用創出に向けて～」が24日午後2時、神戸市中央区下山手通5の県看護協会会館ハーモニーホールで開催される。

「神戸市における短時間雇用創出の取り組み」「ICTを活用した在宅就労支援について」などをテーマに社会福祉法人理事長らが講演。

社説：病む心知る人ぞのみ 週のはじめに考える 中日新聞 2017年7月16日

政治も人も信じられない。若い世代の嘆きの声が聞こえてきます。でもそんな今だからこそ紹介したい。東北の小さな町に、こんな、すごい人がいた。

柔道と相撲で鍛えた偉丈夫が、ひととき大きく見えました。

一九七三年四月、宮城県唐桑町（現気仙沼市）の町長選挙。立会演説会場に充てられた中学校の講堂は、満員でした。

新人同士の一騎打ち。相手は前助役です。「会社顧問」の肩書で立候補したその人は、凜（りん）として背筋を伸ばし、朗々と訴えました。

「私は長年の間、みなさまの想像もできない病苦と戦い抜いて参りました。そうして社会復帰の先頭に立ちました。政治の根本的な考え方は、真ん中より下に視点を置くということでもあります。不幸せな人、病める人に視点を置いた政治、それが鈴木重雄の政治姿勢であります」（荒武賢一郎「東北からみえる近世・近現代」より）

病気も過去も超越し

「南北戦争」といわれた激しい選挙戦。相手の地盤にもかかわらず、やじが飛ぶことなく、涙を浮かべて聞き入る人もいた。

鈴木重雄。一九一二年の生まれ。ハンセン病回復者の完全社会復帰“第一号”。

若き鈴木少年は、文武両道に秀でた“唐桑の星”でした。ところが東京商科大学（現一橋大学）在学中にハンセン病の宣告を受け、順風満帆の人生が暗転します。

ハンセン病患者は、離島の療養所に強制隔離され、ふるさとや社会との関係を一切遮断。それがこの国の政策でした。

鈴木は「田中文雄」の変名で、岡山県瀬戸内市の国立長島愛生園へ収容され、新薬の効果で劇的に回復はしたものの、二十八年の長きにわたり、別人としての人生を強いられました。

それでも心は折れることなく、ふるさとへの思いは消せません。

愛生園の自治会長などとして、持ち前の人懐っこさを発揮しながら、当時の厚生省や救らい（ハンセン病の旧名）活動に熱心な政治家、文化人、芸能人や皇族にまで知己を得ます。

そして転機が訪れました。

唐桑町と気仙沼市は、唐桑半島の陸中海岸国立公園への編入を国に陳情中でした。そのことを知るや鈴木は、培った人脈を動員し、「田中文雄」のままで舞台裏から実現に導くと、半島の先端に国民宿舎の誘致を提案し、これも成功させました。

端っこに宿舎ができれば、陸の孤島といわれた生まれ故郷の隅々にまで水道が行き渡り、

女性たちをつらい水くみ労働から解放できるだろうとの深慮がありました。

こうした鈴木の実績に漁船漁業の船主たちがほれ込んで、選挙にかつぎ出したのです。

ふるさとに足を踏み入れることさえ許されなかったハンセン病回復者その人が過去を取り戻し、地元の有力者たちに請われて本名で町長選に名乗りを上げる一。

故郷への思い新たに

「奇跡を見た」。回復者との交流活動を通じて鈴木と出会い、奈良市から選挙の応援に駆けつけた矢部顕さん（70）は振り返る。

ハンセン病への理解を深めるための応援でした。ところが、周囲の忖度（そんたく）をはるかに超えた鈴木のみふるさと愛と人間愛は、学生運動に身を置いた矢部さんにも驚きでした。「ニッポンの民主主義も悪くはない」と。

結果を見れば、敗北でした。百八十三票差。「あと一カ月、時間があれば」と悔しがる支持者に鈴木は莞爾（かんじ）と笑い、不自由な手で器用に汗をぬぐいつつ、「これでよし」とひと言つぶやきました。

選挙後鈴木は唐桑に定住し、社会福祉法人「洗心会」を創設、激しい反対運動にも遭いながら、知的障害者の通所更生施設「高松園」の開設にこぎ着けた。高台にある高松園は、東日本大震災の避難所としても機能した。“公約”は成し遂げられたのです。

誰が闇を照らすのか

時に冷たい選挙の風に病に傷んだわが身をさらし、鈴木は何を、伝え残したかったのでしょうか。

「なにがどんなにつらかろうと、きっちりひきうけて、こちらから出かけて行かなきゃいけません。光ってものをさがすんじゃない、自分が光になろうとすることなんです。それが、闇の中に光を見出すということじゃないでしょうか」（藤本とし「地面の底がぬけたんです」）

鈴木と同じハンセン病患者が残した言葉。

「病む心知る人ぞのみ、天国行きの切符を買える」。そういえばこれが、鈴木重雄の口癖でした。

どんなに闇が深くても、人は自ら光になれる一。あなたが伝えたかったこと。

違ってますか。天国の鈴木さん。

社説：転勤制度を社員が納得しやすいものに

日本経済新聞 2017年7月16日

親の介護や育児がしづらくなるなどの理由で、転勤をしたくないと考える人はいまや少なくない。転勤のあり方が問われているといえよう。

転居を伴う人事異動が嫌われて企業の新卒採用や中途採用がしにくくなったり、退職者が増えたりすることも考えられる。本人の望まない転勤はなるべくしなくて済むようにするなど、企業は制度を工夫してはどうか。

労働政策研究・研修機構の調査によると、正社員で「できれば転勤はしたくない」という人は4割いた。「転勤は家族に与える負担が大きい」とした人は9割近い。進学期の子ども教育や持ち家の所有が難しくなることも転勤が敬遠される理由だ。

共働き家庭が全世帯に占める割合は6割に達しており、夫の転勤によって妻のキャリア形成が妨げられやすいという問題も見過ごせなくなっている。

転勤は社員を新しい環境に移して経験を積ませることで、人材育成の効果があるとされる。しかし必ずしも転居を伴う異動をさせなくても、本社内の新規プロジェクトに参加させるなどで、人の養成は進められるのではないか。

グローバル化が進み、国内での経験より海外経験が重視される傾向もある。国内の転勤については人材育成の効果が相対的に弱まっているともいえよう。

こうした変化を踏まえると、転勤の制度は見直しの時期に来ているといえる。人事制度を複線化し、会社の命による転勤があるコースと、そうでないコースに分けるなど、転勤

の有無をはっきりさせることが企業に求められる。

その人以外には適任者がいないというケースを除いて、転勤は本人の同意を前提とするといったルールをつくる方法もあるだろう。海外企業は一般に、社員の転勤は本人同意を条件としている。

外資系企業などでは国内拠点で欠員が出ると、赴任者を社内公募する例がみられる。キリンビールには育児や介護などの事情がある社員が、最大5年間、転勤をせずに済むよう申請できる制度がある。社員の納得を得やすい仕組みを各企業が考えてほしい。

日本企業は社員に、長期の雇用を保障する代わりに残業や転勤を求めてきた。残業の削減に加え、転勤の制度の見直しも進み始めれば、正社員の雇用のあり方も変わっていく可能性があるだろう。

社説：老老介護 重層的な支援体制を整備せよ 読売新聞 2017年07月16日

高齢者が高齢者を介護する「老老介護」が広がっている。双方の暮らし全体を重層的に支える体制の整備が急務だ。

在宅介護のうち、要介護者と介護者がともに65歳以上の割合が55%に上がることが、2016年の国民生活基礎調査で明らかになった。両者が75歳以上のケースも30%を上回る。いずれも10年間で10ポイント超も増加している。

高齢化と核家族化に伴い、高齢者だけの世帯が増えたためだ。老老介護は、配偶者間だけでなく、老いた親と65歳以上の子供という組み合わせも珍しくない。

高齢の介護者は、自身も持病や心身の衰えに悩む場合が多い。深刻な介護疲れに陥りやすく、共倒れの危険と隣り合わせだ。追い詰められた末の虐待や介護殺人といった悲劇も後を絶たない。現実を重く受け止めねばならない。

要介護になった主因の1位は認知症で、18%だった。要介護者と介護者が認知症という「認認介護」も相当数に上るとされる。生活維持が難しく、火の不始末や介護放棄が起きやすいが、支援を求められず、周囲に気付かれにくい。

最優先の課題は、在宅介護サービスの充実である。特に、24時間対応の訪問介護・看護や、1事業所で通所、訪問、一時宿泊の各サービスを行う小規模多機能型施設の普及が有効だろう。

ゴミ出しや配食、見守りといった、通常の介護保険サービスだけではカバーし切れない、きめ細かな生活支援も重要である。

政府は、手助けが必要な高齢者らを住民同士で支え合う「地域共生社会」を目指す。その一環で、15年度から介護保険の軽度者向けサービスの一部を自治体事業に移した。地域の実情に応じた柔軟で多様な支援の実現が狙いだ。

自治体は、ボランティアやNPOを含めた担い手の育成と運営支援を積極的に推進すべきだ。

地域の目配りと支え合いは、認知症の早期発見にも役立つ。

介護保険は要介護者のケアを基本とするが、介護者に対する支援の重要性も増している。孤立を防ぐため、同じ立場の人たちが交流し、息抜きや相談ができる場所作りなどを進めたい。

介護者の負担感や身体状況などの「介護力」を評価し、段階に応じて自治体などがサポートする仕組みも検討してはどうか。

それでも在宅介護を継続できなくなる可能性はある。特別養護老人ホームなどの受け入れ施設を着実に整備することを含め、多面的な施策が必要である。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

